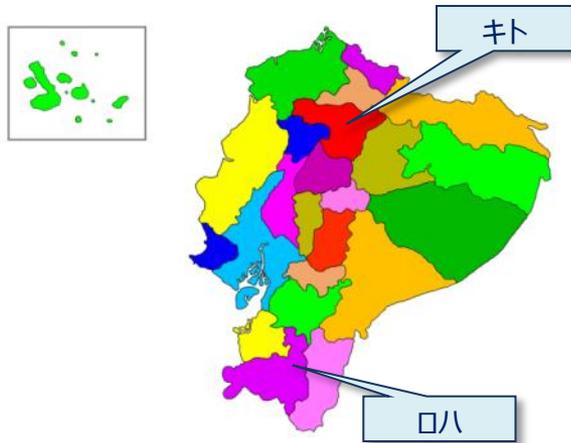


「ラビハ橋梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ラビハ橋梁建設計画」のための、当館とサン・ルカス自治会による贈与契約署名式が行なわれました。

ロハ県ロハ市サン・ルカス自治会中心部から南東方ビヌヤク・アルト地区方面道の約5.1km地点に位置するラビハ川には、地域住民の労働奉仕により設置された木造の既存橋梁があり、農産物の輸送、人及び家畜移動、通学、通院などに利用され、地域住民の日常生活において必要不可欠な交通経路となっている。しかし、小型から中型の貨物自動車による車両通行が多いため、磨耗が激しく、約3年毎に架け替えの作業を強いられている。また、基礎構造が補強されてないため、雨季には増水により基礎部分が流され、落橋の可能性も高く、地域住民は交通並びに物流断絶の危険に晒されており、安全な鉄筋コンクリート製の新たな橋梁の設置が求められている。

本計画は、前述の地区において1橋梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



供与額: 6,444,216円
贈与契約締結日: 2014年2月14日

計画実施前



署名式

